

カミコウバス

「利用者の安心感につなげたい」

観光バス会社が感染拡大防止ツール

カミコウバス(愛川町田代、☎046・281-5547)は、乗客の不安を軽減するため、独自で感染拡大防止ツールを開発。保有するバス全23台に導入した。乗車前に手指消毒するためのアタッチメントと、座席装着型の飛沫防止シールドだ。関連会社のカミコーが製造し、同業他社にも外販していく。

地元で「幸せの黄色いバス」として知られる、貸し切りバス専門の企業。自社ツアーも企画販売している。中でもアクティブシニア層向けの自社企画ツアーは好評で、同じ山でも地元ガイドしか知らない人の少ないルートや、知る人の少ない山で開催するツアーは、毎回ほぼ満員だったという。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大により、同社も所属する観光関連業は大打撃を受けている。



特にバスの場合は「バス=密閉空間」とのイメージが根強い。

ただ、会社によると、観光バスには「外気導入システム」が搭載されており、運転時に使用すれば、車内の空気は約5分で入



れ換わる。それでもお客さんの不安は払しょくできない。そこでお客さんにより安心して乗ってもらうと、同ツールを企画・開発した。

このうちアタッチメントは、市販の除菌水などをバスのドア付近に設置するためのもの。バスに乗ってからは「乗る前」に手指消毒してもらうことで、感染リスクを低減する。

一方、同じく開発した飛沫防止シールドは、座席後部の手すり部分に取り付ける透明のアクリル板。座席前後の頭が当たる部分を仕切ることで、飛沫を受けない仕組み。

「ウイルスは見えないだけに不安は尽きません。しかし、できる対策を全て行うことで「カミコウなら…」と安心して利用してほしいです」と小島貴社長は話している。

8月に取材した

県内の
独創
企業

吉岡精工

「新しい生活様式」対応で開設

若手3人でYouTubeチャンネル

吉岡精工(横浜市鶴見区末広町、☎045-500-1363)は、新しい生活様式に対応する営業ツールとして、YouTube公式チャンネル「ポラスちゃんねる」を開設した。技術営業の若手3人が中心となり、動画を企画する。「非対面」が日常化する中、ホームページ(HP)やZoom会議ではうまく伝わらない情報を伝え、新規営業に結び付ける。ブランドイメージを損なわないしっかりとした動画に仕上げるため、編集はプロにも外注していく。

同社は、半導体の製造工程に欠かせない「ポラスチャック」を製造販売する。ポラスチャックは半導体材料のシリコンウエハーやフィルム、紙といった被測定物を吸着し、高精度の平面平行度で固定するためのもの。現在、200種類のポラスチャックを生産している。

ただ、コロナ禍で展示会が相次いで自粛・キャンセルされているため、新規営業のチャンスが減少。しかも、より深く伝えたい情報があってもHPなどの非対面では限界を感じていたという。

そこで若手3人組が他社やインフルエンサー(ブログやSNSで影響力がある人)などのYouTube映像を分析、研究。自社でチャンネルを開設することにした。

ポラスチャックの基礎知識から始まり、応用分野の紹介など、見つけてもらえるようにコンテンツ数を増やす予定だ。



今後は過去に展示会やイベントなどで名刺交換した企業の技術担当者などにメールやDMなどで案内をしていく。「弊社を知ってもらい、興味を持ってもらうことで提案につなげたいです」と、技術部の熊谷正彦さんは話している。

NDS エンジニアリング

小型で縦・横置きが可能

壁掛けできるUV殺菌装置開発



NDSエンジニアリング(相模原市中央区田名、☎042・760・2789)は、卓上型で壁掛けもできる紫外線(UV-C)ランプ内蔵の空間除菌装置「エア美人」を開発した。

装置内部のファンが室内の空気を取り込み、内蔵されたナノソニック製紫外線ランプ(15ワット)から生み出される「殺菌線」が、ウイルスのDNAを破壊する。16畳の部屋なら8時間程度できれいになるという。

「効果が実感できなかったら返品してもらってもよいと思うほど、自信があります」(長岡哲也社長)とする力作だ。室内のデザインに合わせ選べるカ

ラーバリエーション(ピンク、ブルー、シルバー)も特徴。縦・横置きに対応し、専用金具を使用すれば壁掛けができる。

紫外線ランプは新型コロナウイルス対策にも有効とされ、米ニューヨークの地下鉄では車両の消毒作業に採用されている。同社では「(ウィズコロナ時代)除菌装置はなくてはならない存在になります」(長岡社長)としており、換気できない環境下にある小規模飲食店やオフィス、家庭でのニーズがあると見込んでいる。価格は5万6000円。月300台の販売を計画する。

日本サーマルエンジニアリング

クリーンルーム製造で「最高品質」に

無水アルコール80%の除菌スプレー

日本サーマルエンジニアリング(相模原市中央区田名塩田、☎042-711-8645)は、クリーンルームで生産し、超純水で希釈した除菌スプレー「無添加80%アルコールスプレー」を商品化した。小さなホコリの付着も許されない半導体関連製品の基準に合わせて生産した本格的な除菌スプレーだ。新型コロナウイルス感染症対策を進める施設に提案する。



厚生労働省やWHO(世界保健機関)の研究結果では、アルコール(エタノール)の最適除菌濃度は70~80%とされる。

しかし、会社によると、市販されているエタノールの除菌液の多くが成分に「変性アルコール」を使用している。変性アルコールは飲用への転用を防ぐために、毒性の強いメタノールやイソプロパノールが添加されている。

それに対し、新製品はエタノール純度99.5%以上の「無水

アルコール」を使用。不純物を極限まで除去した超純水で希釈し、濃度80%に仕上げた。価格は1100円程度(100ミリリットル入り)。

「最高品質です。当社は常に最高のものを作りたい。どこにも負けたくないという気持ちでモノづくりをしています。アルコールスプレーも同じです」と、佐保良二社長。コロナ対策で困っている保育園や幼稚園、学校、介護施設などに販売していく。



「CS60 横浜」新横浜店

魅了された女性起業家が開店

特殊な器具「CS60」で施術

「CS(セル・スムーズ)60」と呼ばれる特殊な半導体回路が内蔵された器具で施術する店が、新横浜駅近くにある。「CS60横浜」新横浜店(横浜市港北区新横浜、☎080-1050-6147)は4月にオープンしたばかりの店だ。代表のFUMIKAさんの施術を目当てに、肩こりや体の痛みに慢性的に悩む人たちがやってくる。



CS60は、特殊な半導体回路を内蔵したヒーリングデバイス(生体電流整流器)。人間の細胞「セル」と円滑「スムーズ」から名付けられたもの。施術を受ける人が着衣のままベッドに横になり、施術者が手に持ったCS60の丸い金属部分を体の表面に当てていく。人間に60兆個あると言われる細胞の働きをスムーズにするための機器を使用しているという。創業者の西村光久氏が開発した。同店は



こりなど体の不調に悩むサラリーマンなど、いろいろな人がやってきます」とFUMIKAさん。

もともと、加圧トレーニングやタイ古式マッサージの経験があり、自身も頸関節症やストレスに起因する体の不調に悩んでいたときにCS60と出会った。同器具の可能性に魅了され創業に踏み切ったという。

まずは試してみたいという人向けのクイックコース(15分、2000円)、基本コース(60分、7000円)、プレミアムコース(90分、1万円)の3コースを用意している。



そのCS60を使った地域でも珍しい専門の施術院だ。

同店の近くはオフィス街であるばかりでなく、新横浜スケートセンターや日産スタジアムなど、アスリートたちが集う施設もある。「痛みを悩むアスリートや肩

社長さんが知っておきたい
冠婚葬祭のマナー

9月には秋の伝統行事のお彼岸がありますが、いつ、何をすればよいのか、分からない方も多いのではないのでしょうか。そこで、お彼岸について、よくあるご質問とあわせてご紹介いたします。

Q. お彼岸っていつですか?

A. お彼岸には、3月の春彼岸と9月の秋彼岸があります。3月は春分の日(祝日)、9月は秋分の日(祝日)を中日として、その前後3日間を合わせた7日間がお彼岸です。そして、その初日を彼岸入り、最後の日を彼岸明けと呼びます。

今年の秋彼岸は、9月19日(土曜日)を彼岸入り、9月22日(火曜日)を中日(秋分の日)、9月25日(金曜日)が彼岸明けになります。

▼すぐに役立つ葬儀マナー⑨
～お彼岸について～

春分の日や秋分の日

は、太陽の動きを基準に国立天文台が計算をして、閣議決定をしているので、毎年同じ日になるわけではありません。カレンダーなどで確認しておくといでしょう。

Q. 秋彼岸には何をしますか?

A. 一般的には、お仏壇や仏具を普段よりも丁寧なお手入れをし、お墓へ行って、墓石や墓石まわりをきれいに掃除し、お参りをします。そして、季節

に合わせてお花やお菓子、果物などのお供え物をお墓や仏壇へと供えます。定番のおはぎや、故人の好みの物を供えてもよいでしょう。

Q. お彼岸中のお墓参りに行く日は決まっていますか?

A. 一般的に特に決まりはありません。7日間のうち、いつでも大丈夫です。

秋分の日(中日)は祝日で足を運びやすいので、多くの方はこの日に集中するようです。

霊園や納骨堂によって、中日が混雑する可能性があるため、彼岸入りの早いタイミングでお墓参りをするという方もいらっしゃいます。

最後に、今年は新型コロナウイルスの感染拡大により、例年通りのお彼岸とは

いかないかもしれませんが、一番大事なことは、ご先祖様や故人を大切に

にする心です。

例えば、お墓が遠方でお参りに行けない方は、お墓の方角へ向かって手を合わせる、故人が好んでいた料理を作って感謝を伝える、思い出のある写真を見ながら故人を偲ぶなど、今、できるスタイルを考えるだけでも、ご供養につながるのではないのでしょうか。ご参考になれば幸いです。

(清水誠葬具店副社長・清水ふじ代)